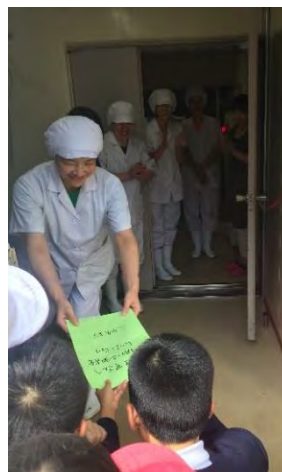


# 第3学年 桐の子タイム 学習指導案 (総合的な学習の時間)

## 「給食のひみつを探ろう！」



自分たちの疑問に答えたり，食の指導をしたりしてくれた栄養教諭の野村先生！



野村先生も，学校調理員さんたちも，ありがとう！

私たちの劇を見に来て下さい！感想もくれたら嬉しいです！



精一杯演じた桐の子発表会！懸命に取り組んで，携わる人たちの思いを考えたからこそ，もっと知りたいことが出てきました！



自分たちで調べて，さらに野村先生に聞いて，お互いに見合って…。給食のことや作る人の思い，自分たちにできることを届けて，みんなの意識も高まればいいな！



## 函館市生活科・総合的な学習教育研究会 中学年 総合的な学習の時間部会

# 単元名「給食のひみつを探ろう！」（16 時間扱い）

未来を切り拓く 函館の生活・総合  
～自ら学びを創る子供の育成～

日 時：令和元年 11 月 28 日(木) 第 6 教時

児 童：北海道教育大学附属函館小学校

第 3 学年 1 組 男子 16 名 女子 18 名 計 34 名

第 3 学年 2 組 男子 16 名 女子 17 名 計 33 名

指導者：石崎寿和(担任)・山城佳美(担任)・野村恵(栄養教諭)

## 1 単元の概要

### 単元の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、毎日の学校給食に関する課題を見いだして調べたり、携わる人々から話を聞いたり、自分との関わりを見つめ直したりすることを通して、学校給食において大切にしていることや食事を作る人の苦労や努力を理解し、感謝の思いをもちながら、今後の給食との関わりについて考え、生活に生かそうとする。

【探究課題：学校給食と携わる人々（食）】

### 単元で育成を目指す資質・能力（単元の評価規準）

| 知識・技能 評価 1  | 思考・判断力・表現 評価 2   | 主体的に学習に取り組む態度 評価 3  |
|---|--|---|
| 学校給食を作る人々は、栄養バランスが心身の健康に影響を与えることを踏まえ、自分たちの健康や成長を願い、工夫や努力していることを理解し、健康な食生活には一人一人の選択・判断が必要なことに気付く。<br>必要な情報を調べたり、自分の考えをまとめたりすることができる。 | 学校給食に関する疑問や予想から課題を見いだして調べたり、携わる人々から思いを聞いたり、自分との関わりを見つめ直したりしながら、自分と友達や過去の自分、他者との情報や考えを比較し関連付け、今後の給食との関わりについて考え、根拠を明らかにしてまとめることができる。 | 調査活動や交流活動に意欲的に取り組み、携わる人の話や友達の考えを生かしながら、学校給食への感謝の思いをもち、今後自分が大切にしたいことを生活に生かそうとする。 |

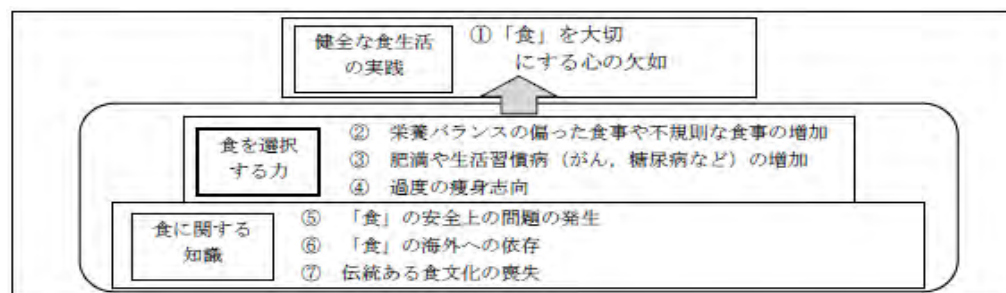
### 食を選択する力を育むために

探究課題設定と  
教材化の背景

図 1  
食をめぐる  
様々な問題

※食育基本法を整理

「食育基本法」の前文には「子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである」とある。この背景には、毎日欠かせない食をめぐる様々な問題（①～⑦）があったことも指摘されている。図 1 は、食をめぐる様々な問題（①～⑦）を本単元のねらいにそって整理したものである。食に関する知識を身に付け（⑤～⑦）、目的に応じて食を選択する力（②～④）によって、食を大切にする心が育まれるととらえている。それが健全な食生活の実践へとつながる。



食に関しては、近年「食育基本法」や「食育推進基本計画<sup>2</sup>」が制定されるとともに、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力として「食に関する力」を教科横断的な視点で育成していくことが求められている。<sup>3</sup>

本単元では、「学校給食と携わる人々」という探究課題のもと、②～④食を選択する力を育むことを目指す。そのために、図2の通り（図1に加筆）、「食に関する指導の手引き<sup>4</sup>」にある食育に関する指導の目標で掲げている6つの目標のうち、(1)食事の重要性、(2)心身の健康、(4)感謝の心を育むために栄養教諭、学校調理員との関わりによって、学校給食における自分の食事を見つめ直していくことをねらう。そして(3)食品を選択する力へとつなげていく。探究的な学習を通して、②～④食を選択する力を育成し、①食を大切にする心や健全な食生活を

<sup>1</sup> 農林水産省「食育基本法」2005 制定、2015 改訂。

<sup>2</sup> 農林水産省「第3次食育推進基本計画」2016。

<sup>3</sup> 文部科学省「小学校学習指導要領」2017。

<sup>4</sup> 文部科学省「食に関する指導の手引き(第二次改訂版)」2019。



実践する態度の素地を養う。別紙<sup>5</sup>にて、「食に関する指導の手引き」で例示されている資質・能力に関して、本単元における他教科等も含めてねらうものを示す。

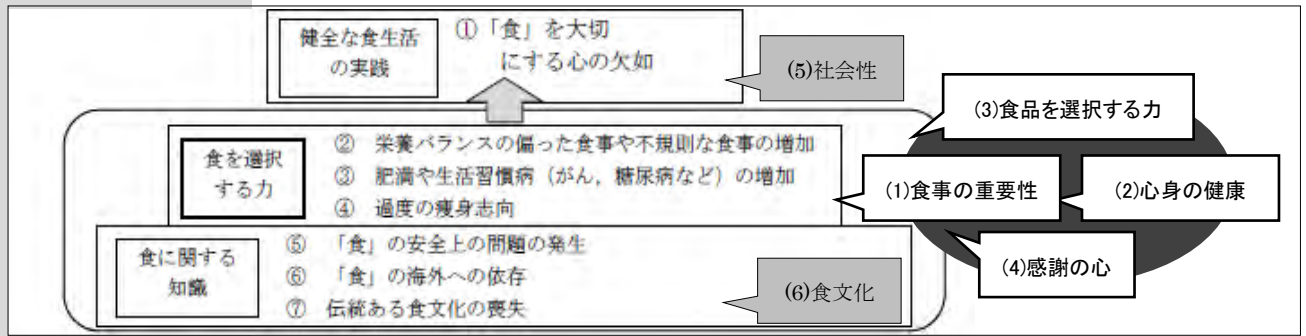


図2  
本単元で重視する食の指導の目標

※図1に食の指導の目標（食に関する指導の手引き）を加筆・整理

本図(2007)<sup>6</sup>は「学校給食が学校の食の中心にあり、校内均一化のもとで機能している」と述べている。本単元において、学校給食を教材とする価値は二つある。

一つめは、子どもたちにとっての物理的距離（場所）と心理的距離が近いことである。学校給食での食事は、毎日の生活と切り離せない。よって、子どもたちの「知りたい!」「見たい!」「聞きたい!」という思いの醸成や実現がしやすく、活動を通して子ども自身が食に対する意識の変容を実感したり、関わる人々の思いを捉え、感謝の気持ちを抱いたりすることができる。

二つめは、「学校給食」を追究していく中で、子供自身の思いや学習活動が豊かに広がり発展していくことができる点である。他者の思いや多様な考えに触れることで、「栄養のバランスを考えて食べることがよりよい成長につながるんだよね。」「好きなものだけでなく、苦手なものも健康のために食べなきゃ。」などの考えに感化し、食は一人一人がしっかりと向き合っていていかなくてはならないことに気付くことにつながっていく。また、学校給食に携わる人々の思いに向き合うことで、「自分の食生活や健康、成長を考えてくれているんだ。」といった関係性に気付くとともに、「しっかりと食べることが自分のためになるんだ。」という思いを抱き、今後の食生活を自らが判断し、健全にしていく意識の醸成に生かすことができるのである。

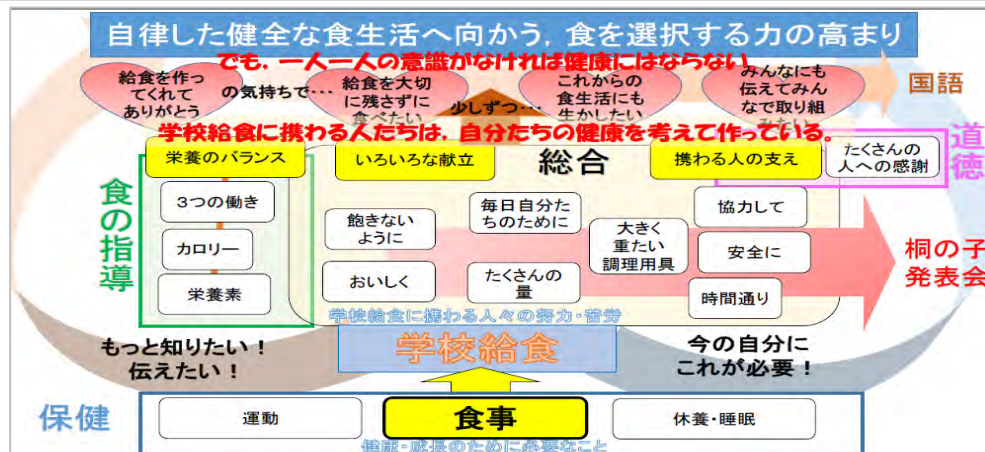
このように、探究的な学習において、学校給食を扱うことにより、今後子供たちが食生活を自分ごととして考え、見直し、よりよい行動へ改善していくことができると考えている。その行動には正解や答えが一つに定まっているものではなく、これにより、実社会・実生活について多面的・多角的に考えることを可能にする。

児童は、身近な事象への関心や学びの意欲が高い。総合的な学習導入期であることを踏まえ、本単元では、学び方を学ぶことを大切にしながら、子どもたち一人一人が本気で追究し、友達の気付きや考えを理解し、自分の考えと比較・関連付けしながら、食に対する思いの変容を自覚し、関心を高めていくことをねらう。給食の食べる量は個人差があり、食への意識が低く、作る人の思いを大切にしている様子がなかなか見られない。そんな子供たちが、自分のことを考えてくれている人の思いや願い、苦労、工夫を理解し、自分にできることを考えたり、今後食を選択・判断したりしていく姿を目指す。

食に対する関心  
食の選択・判断  
携わる人の思い

児童の実態から

## 単元のグランドデザイン（他教科との関連及び概念構造図）



<sup>5</sup> 別紙資料では他に、北海教育大学附属函館小学校桐の子タイム（総合的な学習の時間）全体計画、系統図、第3学年年間指導計画、食に関する指導全体計画、本時資料をまとめている。

<sup>6</sup> 本図愛美「学校運営における「食」の意味と課題：学校教育システムと食育の観点から」宮城教育大学紀要：42,p.193-203,2007.

## 2 研究内容との関わり

### 研究内容 1

### 子供が必要感をもち、本気で探究へ向かう単元構成【意欲】

健康・成長のために  
食事でも大事！  
みんなが食べている  
学校給食は？  
【身近さ】

保健の学習から  
総合の学習へ

図3 保健との関連

身近なのに、  
知らないことが多い！  
もっと知りたい！  
【多様性】

疑問→予想→見通し  
意欲→活動→意欲

写真1  
桐の子発表会の子供の姿

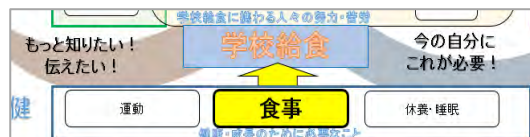
図4  
桐の子発表会との関連

学校給食のこと  
携わる人の思い  
伝えたい！  
そのために  
もっと調べないと！  
【発展性】

新たな目的意識  
国語の学習へ

図5  
国語科と総合の関連

保健「けんこうな一日の生活」の学習で、子供たちは「毎日を健康に過ごしたり、体をよりよく発育・発達させたりするためには、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要であること」を理解する。そして、みんなが共通して取り組むことができる部分として、みんなが普段食べている身近な「学校給食」に焦点を当てていく。子どもたちは総合的な学習の時間でよりよい成長や健康のために「それぞれの疑問を解決し、学校給食について詳しくなる」という目的をもって取り組んでいく。

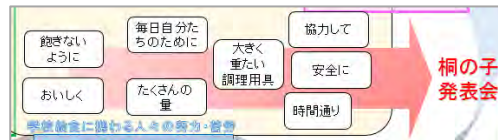


単元導入期では、子どもたち一人一人が給食について知っている情報や疑問を交流する場面を設定する。その際、「身近な学校給食なのに、知らないことやわからないことが多い！」という思いを浮き彫りにし、「わからないことを実際に聞いてみたい！」「もっと学校給食のことについて知りたい！調べたい！」という思いを醸成する。そして、子供たちが自分たちで予想しながら、「関係する人から、話を聞きたい！」「給食についてもっとくわしくなりたい！」という目的意識をもち、追究活動へ向かうようにする。

また、桐の子発表会（文化的行事：本校の学芸会の名称）の演目を「学校給食」と関連するものとし（企画決定→本番に向けた取組については、全校的に桐の子発表会実行委員会を中心に子供たちが主体的に行っている）、「学校給食に携わる人の思いをもっと知りたい」という子供たちの思いを高める。演目発表の際には、栄養教諭や学校調理員に見てもらおうよう招待状を送ったり、感想の手紙をもらったりする場面を設定し、相手意識を高める。



紙をもらったり  
する場面を設定  
すし、相手意識  
を高める。



子どもたちは、栄養教諭から栄養素のことや給食のメニュー作りについて話を聞くことを通して、「健康や成長のためにはバランスよく食べることが必要なんだ。」「自分たちのことを考えて献立を作ってくれているんだね。」「残食がこんなにも多いんだ…。」など、食と自らの健康や成長との関わり、そしてそれを支える栄養教諭の働きや校内の課題に気付くことができる。

また学校調理員は、近接する幼稚園、中学校、特別支援学校の分も含め900食ほどのたくさんの給食を毎日作っている。大きな炊飯器、大きな鍋、大きなへらなどを使った調理風景を実際に見たり、大量の食事を時間内にミスなく作らなければならない環境や給食づくりに関わる思いを聞いたり考えたりすることによって、身近な給食が学校調理員の努力や工夫に支えられていることを実感できるようにする。

このような経験をもとに、子供たちは自分でさらに追究したいことや発信したいことを明確にし、それぞれ追究していくことになる。

そして発信を目指し、子どもたちは給食と自分や他者との関わりについて、自らの課題意識や必要感をもち、さらに追究し、見つめ直していく。自分の食生活を支えてくれている人々との関わりを通して、当たり前感じていた食事のありがたさや関係する人々への感謝の思いをもち、単元の終末では、そのような人々の気持ちや自分の思い、単元の学びを他者へ伝える効果的な活動、内容について子どもたちと考えていく。まとめでは、国語科との関連を図る。





## 研究内容 2

# 子供が思考や活動を吟味し、良化へ向かう支援【自覚】

前はこうだった  
けれど…  
こう変わったよ！  
【自己の自覚】

自覚を促す思考の  
蓄積と教師の関わり

写真 2  
教師の関わり

そうだったんだ！  
そうかもしれない…  
きっとこういうことだ！  
【課題の自覚】

自覚から良化へ  
向かうための  
ゲストティーチャー  
(栄養教諭)

食の指導と道徳

図 6  
本単元における食の指導  
や道徳と総合の関連

なるほど！  
こうすればいいのかも！  
【追究方法の自覚】

良化を促す  
交流の工夫

写真 3 Q&A カード

子供が学びを自覚することができるよう、子どもたちが食や学びの価値に対する思いや考えを表出することを大切にする。そして教師の次なる支援に生かす。

グループや個人で振り返りを行う時間を弾力的に設ける。子供たちは、①学んだことや自分の思いや考え、②次の時間に向けて、の内容に沿って自己や学びを振り返ることができる。その振り返りを交流することによって、子どもたちの相互評価を促したり、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。また、子供自身が変容を実感したり、以前の自分と現在の自分を比較したりしながら、思考や学びの結果を自覚することができる。

教師はそのような子どもの振り返りから、一人一人の思い、学びを集積することによって、その時点での子どもの考えを再確認し、意図的・計画的な個に応じたアプローチをすることができる。また、子ども一人一人に合わせたストーリー構想を修正しながら、単元を通して子どもたちの気づきや考えの変容を見取り、成長を価値付けることができるのである。単元の最後には、子供たちが自己の変容を実感し、今後の生活へ生かすことができるよう、はじめの思いや記録をもとに比較する場面を設定する。



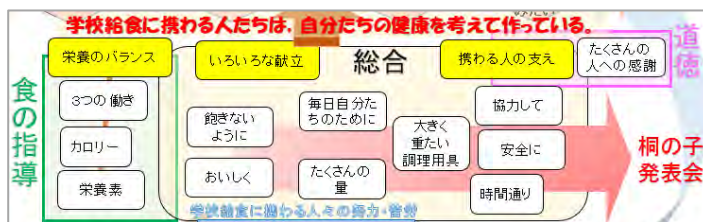
子どもたちが「学校給食」を見つめ直しながら、関わる人々への感謝の思いを抱き、今後の食生活を考えることができるよう、栄養教諭や学校調理員との関わりや振り返りを設定し、下記のような子どもたちの思いの自覚と今後の良化を支える。

- ◇ たくさんの毎日の学校給食は、栄養教諭の先生や学校調理員さんの努力に支えられている。
- ◇ 栄養教諭の先生や学校調理員さんは、自分たちの成長や健康を願って、学校給食を工夫している。
- ◇ 健全な食生活のためには、一人一人の食への意識がなければならない。

自己の学校給食への関わりを自覚化し、良化へ向かうために本単元と並行して、学級活動や道徳科の学びを充実させる。

**学級活動（栄養教諭による食の指導）**では、「食べ物は働きによって3つのグループに分けられること」や「栄養バランスのために好き嫌いなく食べることが大切」だということを子供たちが理解できるようにする。

また、**道徳科「いただきますとごちそうさま」[B(7)感謝]**の学習を通して、「自分たちが食べている食事には、たくさんの人が関わっていることやその人たちの思いに気づき、感謝して食べようとする気持ちをもつ」意識を高める。



それぞれの関心や課題意識から調査をしていく活動では、子供たちは得た情報をカードに記入する。そのカードをもとに、交流する場面を設定する。子供たちはお互いに見合いながら、伝わりやすいかどうか、2種類のシールを貼っていく。貼られたシールから交流活動を促したり、子供自身が伝わりやすさやこれまでの調査を振り返ったりすることができるようにする。



### 3 単元計画 (16 時間)

| 時           | 学習活動 (○) と子どもの姿  | 教師の支援 (☆) と評価 (◇)  |
|-------------|--|--|
| ※           | <p>○ 保健の学習で、健康や成長のために必要なことについて考える。</p> <div>運動、食事と休むことも大切なんだ！</div> <div>学校給食はみんな食べているよね。</div> <div>学校給食について知っていること、たくさんあるよ！</div> <p><b>知っていることを出し合おう！</b></p>   | <p>他教科等との関連 【自覚への支援】</p> <p><b>保健との関連：けんこうな生活</b><br/>毎日を健康に過ごしたり、体をよりよく発育・発達させたりするためには、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要であることを理解する。</p>   |
| ①<br>②      | <p>○ 学校給食に関する情報や思いを交流する。</p> <p><b>【知っていること】</b></p> <div>野村先生や調理員さんが作っているよね。</div> <div>献立表があるよ。食材も書いてある。</div> <div>給食室に戻しに行くよね。職員室の近くだね。</div> <p><b>【知らないこと】</b></p> <div>どのように作っているの？</div> <div>どうやって決めているの？</div> <div>残したら、どうするの？</div> <p><b>あれ？毎日食べているのに知らないことある！<br/>もっと健康になるために、栄養教諭の野村先生に聞いてみよう！</b></p>  | <p>◇ 意欲的に食や給食についての思いを伝え合い、今後の学習の期待や見通しをもつ。 <span style="float: right;">評価 3</span></p> <p>☆ 自分と給食との関わりへの関心をもち、今後の学習に意欲的に取り組むことができるよう、自由な思いや考えを交流する場面を設定する。</p> <p>☆ <u>次第に、給食について知らないことが多いことに焦点化していく。</u> <span style="float: right;">【課題の自覚】</span></p>   |
| ③<br>④<br>⑤ | <p>○ 栄養教諭に質問したり話を聞いたりし、回答や話など集めた情報を振り返る。</p> <div>  <p>給食はみんなのことを考えて作っています。学校調理員さんも一緒に作っています。</p> <p>栄養教諭</p> </div> <p><b>【栄養教諭】</b></p> <div>いろいろな栄養素があるんだね。たんぱく質は体をつくるんだ。</div> <div>バランスよく食べるためのメニューなんだね。</div> <div>カロリー計算もしているんだ。たくさん考えてるんだ。</div> <p><b>【学校調理員】</b></p> <div>調理員さん、大変そう…。こんなに大きい調理用具を使うんだ。</div> <div>遅れると困るから、速く正確に協力しているんだね。</div> <div>毎日 900 食も作るんだって！すごい！</div> <p><b>栄養教諭の野村先生や調理員の人たちは、自分たちの健康や成長、好み、食べやすさなどを考えて給食を作っているんだね。残食減らしたいんだって。</b></p> <p><b>栄養教諭の野村さん、学校調理員さんの思いを伝えたい！</b></p> | <p>◇ 必要な情報を集め、自分の考えをまとめている。 <span style="float: right;">評価 1</span></p> <p>◇ 栄養教諭は、自分たちの健康や成長を考えて栄養のバランスに気を付けて給食のメニューを考えていることを理解する。 <span style="float: right;">評価 1</span></p> <p>☆ 栄養教諭の話を整理し、思いについて捉えることができるよう、教師の言葉がけや交流の仕方を工夫する。</p> <p><b>学級活動（食の指導）との関連：</b><br/><b>食べ物にはどんなえいようがあるの？</b><br/>食べ物は働きによって3つのグループに分けられることや、好き嫌いなく食べることの大切さを理解する。</p> <p><b>発表会との関連：劇「給食番長」</b><br/>学校調理員さんの「みんなにたくさん食べてほしい！」という思いを、伝えるための言葉や表情、演技について考える。</p> |
| ⑥           | <p>○ 栄養教諭の話や発表会を振り返り、さらに自分で調べたいことを考える。</p> <div>どうして、この仕事をしているのか気になる！</div> <div>作るときに、気をつけていることってある？</div> <div>後片付けてどうしているのかな？</div>   | <p>◇ 調査方法を計画し、活動を通して情報を収集することができる。 <span style="float: right;">評価 2</span></p> <p>☆ 学習を振り返り、さらに疑問や課題を見いだして調べることができるよう、これまでの活動を写真や動画で示したり、栄養教諭や学校調理員さんの話を振り返ったりする。</p>  |

|                            |  |   |
|----------------------------|--|---|
| <p>⑦<br/>⑧<br/>⑨<br/>⑩</p> | <p>○ 同じ思いの子供たちでグループを作り、調査する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇今回、構成されたグループ◇</p> <p>①仕事について理由 ②後片付けの秘密</p> <p>③衛生や安全について④メニューについて</p> <p>⑤給食室の秘密 ⑥野村先生と調理員さんの1日</p> <p>⑦願いや思い ⑧材料その1</p> <p>⑨材料その2 ⑩残食</p> <p>⑪カロリー&amp;費用 ⑫道具の秘密</p> </div> <p><b>まだまだ知りたい！そのために何する！？</b></p> <p>○ 調査したことは、随時 Q&amp;A カードに記入する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">料理をすることが好きなんだって。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">くわしく調べている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">1個1個洗っています。</div> </div> | <p>◇ 調査方法を計画し、活動を通して情報を収集することができる。【評価 2】</p> <p>☆ 主体的・協働的に取り組むことができるよう、子供たちの関心や思い、疑問を集約してから、再度調べたいことを表出させる。</p> <p>☆ <u>学習を進める中で、様々な調査をしたり、グループはその都度再編成・再構成したりしてよいことを子供と確認する。</u> 【自己の自覚】</p> <p>◇ 必要な情報を集め、Q&amp;A カードにまとめている。【評価 1】</p> <p>☆ 記入や、お互いに見合ったり交流し合ったりする活動をスムーズに行うために、書式をそろえる。</p>   |
| <p>⑪<br/>【本時①】</p>         | <p>○ これまでの調査を振り返り、学んだことや思ったこと、伝えたいことを交流する。【1回目】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">これだけだ、思いが伝わらない気がするな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">何で、どのようにくわしく調べているか伝えないと。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">思いも入れた方がいいし、自分たちでできることもあるはず。</div> </div> <p><b>給食に携わる人の思い、苦勞、工夫、自分たちの考え、みんなにできることも必要だ！</b></p>  | <p>◇ さらに必要な情報や今後の情報収集や整理分析の仕方について見通しをもったり、取り組んだりすることができる。【評価 2】</p> <p>☆ <u>これまでの情報収集の方法や内容について振り返ることができるよう、班ごとに見合う活動を設定する。</u> 【追究方法の自覚】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>道徳との関連：B(7)感謝</b><br/> <b>いただきますとごちそうさま</b><br/>         自分たちが食べている食事には、たくさんの人が関わっていることやその人たちの思いに気づき、感謝して食べようとする気持ちをもつ。</p> </div> |
| <p>⑫<br/>⑬</p>             | <p>○ 再調査し、Q&amp;A カードに付け足していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">食は健康に一番つながると考えているんだね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">安全・安心な給食のために、細かなチェックが必要なんだ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">できるだけ綺麗に返すと、楽しだし、いい気持ちになるよね。</div> </div>   |   |
| <p>⑭<br/>【本時②】</p>         | <p>○ これまでの調査を振り返り、学んだことや思ったこと、伝えたいことを交流する。【2回目】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">栄養のこともわかって、食べようという思いになるよ！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">どれだけみんなのことを考えているか、わかるね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">みんなができること、すべきことがあるから、伝わりやすい！</div> </div>  | <p>◇ 伝えたい要素を明確にし、今後の学習の見通しをもつ。【評価 2】</p> <p>☆ <u>これまでの情報収集の方法や内容について振り返りながら、伝える上で大切な要素を児童と見付けていく。</u> 【自覚：課題】</p>   |
| <p>⑮</p>                   | <p>○ 伝える上で大切なことを振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">給食を作ってくれる人がどのように思っているか伝わればいいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">どうすることがいいのか、きちんと伝えることも大切だね。お手本にならないと。</div> </div> <p><b>給食のことや栄養教諭の野村さん、学校調理員さんの思い、みんなにできることが伝わっていけばいいな！</b></p>   | <p>◇ 給食に携わる人々の思い、一人一人に必要なことについて理解する。【評価 1】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>国語との関連：調べてほうこくしよう</b><br/>         目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりし、伝え合うために必要な事柄を選んだり、相手に伝わるように理由や事例を挙げながら中心を明確にし、話の構成を考える。</p> </div>   |
| <p>⑯</p>                   | <p>○ 単元の学びを振り返り、自分の今後の生活について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一人一人の意識が大切。みんなに伝えたいけれど、自分たちだって意識し続けなければいけないね。</p> </div> <p><b>学んだことを少しでも生かして生活したい！</b></p>   | <p>◇ これまでの学習を生かしながら、今後自分が大切にしたいことを生活に生かそうとする。【評価 3】</p> <p>☆ <u>これからの食に対する意識の変化に気付くことができるよう、はじめの思いと今の思いを比較する場を設定する。</u> 【自己の自覚】</p>   |

## 5 本時案① (11月25日 第12時 / 16時間扱い)

### 本時の目標

集めた情報から、全校に給食の大切さについて伝える要素を整理し、今後の活動を見通すことができる。

| 学習活動（○）と子どもの姿  | 教師の支援（☆）と評価（◇）<br>【自覚への支援】  |
|--|---|
| <p>○ 前時までの振り返りをする。</p> <div>野村先生にインタビューしたことを紙にまとめたよ。</div> <div>桐の子発表会で給食のことについてやったけど、より給食の大切さを全校に伝えるために、いろいろ調べているよ。</div> <div>自分たちの質問カードを作る中で、みんなのカードがどうなっているのか見てみたい。</div> <p>○ 前時に書いた質問カードをもとに交流する。（GW）</p> <div>食のことがわかりやすく書かれていていいね。</div> <div>調理員さんの思いが書かれているね。</div> <div>自分たちと同じ質問をしたけど、こっちのほうが内容が詳しく書かれているね。</div> <div>この質問カードには、全校に給食の大切さが伝わるので青シールをはろう。</div> <p>○ 青シールが多く集まった質問カードと赤シールが多く集まった質問カードを比較して、今後調べたいことや聞きたいこと、まとめたいことを考える。</p> <div>全校に伝えるには、赤シールのところをもっと詳しく調べなければいけないね。</div> <div>後片付けには、たくさんの手がかかっているの、自分たちでも気を付けなければいけないことがあるよね。</div> <div>一食分の値段やカロリーをコンビニのお弁当と比べてみたい。</div> <div>質問から、野村先生がどう考えているのかも一度聞きたいな。</div> <p>○ 各グループで、これからの課題を話し合い、ホワイトボードに振り返りをする。</p> <p>○ 次時の学習について、子供たちと確認する。</p> | <p>☆ 給食の大切さを伝える要素が書かれた質問カードが見やすくなるようグループごとにブースを作る。</p> <p>☆ 今までの学習を想起することができるよう、これまで学習してきたことを時系列にまとめて、前時まで出てきた課題を確認する。</p> <p>☆ 各グループの質問カードを見合い、調べたことの内容が給食の大切さを伝える要素になっているのかを分析するために、色別シールを用意する。</p> <p>※青シール→伝わるね！いいね！！<br/>赤シール→もう少し詳しく調べるといいね！</p> <p>◇ 色別シールをもとに、給食の大切さについて伝えるために、集めた情報に対して、再度見直している。</p> <p style="text-align: right;"><b>評価 2</b></p> <p>☆ <u>グループの話し合いで焦点化を図れるよう、質問集約シートを使って、声かけをしながら各グループに的確な支援をしていく。</u></p> <p style="text-align: right;"><b>【追究方法の自覚】</b></p> <p>☆ 交流で気づいたことやこれからどのようなことを学んでいきたいのかをそれぞれ考えさせる。</p> |



## 6 本時案②【公開授業】(11月28日 第14時 / 16時間扱い)

### 本時の目標

これまでの調査や学びを交流することを通して、伝えたい要素を明確にし、自分たちにできることを考え、今後の学習や生活の見通しをもつことができる。

| 学習活動（○）と子どもの姿  | 教師の支援（☆）と評価（◇）<br>【自覚への支援】   |
|--|--|
| <p>○ 前時までの学習内容を振り返り、本時の見通しをもつ。【全体】</p> <div data-bbox="159 589 526 656">野村先生に質問を聞いて、給食に対して、より詳しくなったよ。</div> <div data-bbox="542 589 882 656">調理員さんへの質問も野村先生に頼んで聞くことができた。</div> <div data-bbox="159 678 869 745">赤から青に変えるために、野村先生や調理員さんの思いや願いを聞いたから、もう一度みんなの質問カードを見て交流したい。</div> <div data-bbox="159 768 954 835" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">給食の大切さが伝わるかどうか、みんなで確かめよう！！</div>   | <p>☆ 今までの学習を想起できるよう、Q &amp; Aカード（給食調べカード）を提示し振り返ることで、本時の見通しをもてるようにする。</p>  |
| <p>○ 前時に書いたQ &amp; Aカード（給食調べカード）をもとに交流する。（GW）【グループ】</p> <div data-bbox="159 981 526 1104">野村先生の思いや願いが書かれているのいいね。大変さや苦労も書かれているので、全校に伝えるべきだね。</div> <div data-bbox="542 981 882 1104">自分たちの考えや、これからみんなにしてもらいたいことが書かれているからいいね。</div> <p>○ 給食の大切さについて伝えたい要素をまとめる。【全体】</p> <div data-bbox="159 1261 909 1568"> <pre> graph TD     A[野村先生や調理員さんの<br/>思いや願い] --&gt; B[自分たちができること]     A --&gt; C[食べてもらうための工夫]     A --&gt; D[安全やおいせい]     C --&gt; E[仕事の苦労や大変さ]             </pre> </div> | <p>☆ 各グループのQ &amp; Aカードを見合い、調べたことが伝えたい内容になっているのかを分析できるよう、色別シールを用意する。</p> <div data-bbox="989 1070 1321 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         赤シール→もう少し！<br/>         青シール→いいね！<br/>         黄シール→すごい！       </div> <p>◇ 交流を通して、伝えたい要素を明確にし、自分たちにできることを考え、今後の学習や生活の見通しをもつことができる。 <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">評価 2</span></p> |
| <p>○ 各シールが貼られたカードを比較して、伝えたいこと、まとめたいこと、より調べたいことや聞きたいことを考える。【グループ】</p> <div data-bbox="159 1742 526 1955">後片付けには、たくさんの手がかかっているの、自分たちでも気を付けなければいけないことがあるよね。伝えるためには、写真があると大変さが伝わるね。</div> <div data-bbox="542 1742 882 1955">赤シールを付けたグループに、どうしてつけたのかを聞いてみよう。<br/><br/>自分たちにできることやみんなへのメッセージを書いて伝わるようにしよう。</div>  | <p>☆ <u>黄色シールがついているQ &amp; Aカードを取り上げることで、自分たちで考えたり調べたり、聞いたことから、伝えなければいけない大切な要素を児童と考える。</u> <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">【課題の自覚】</span></p> <p>☆ 交流で確認した要素をもとに、自分たちの伝えたいことを再確認したり、今後の活動の見通しをもったりすることができるよう、グループの時間を設定する。</p>  |